

# 全管協インタビュー



「全国ネットを生かす」と水野委員長

## 新委員長 水野隆司氏



「対応力を強める」と伊瀬知部会長

## 空き家部会長 伊瀬知晃氏

全国1700社超が加盟する全国賃貸管理ビジネス協会(全管協)は、検索サイト『全国空き家管理ナビ』(以下、空き家ナビ)を開発して、社会問題化する「空き家」問題の対応に力を入れていく。開設後1年が経過し、サービスメニューの更なる強化を図っていく考えだ。担当する新新委員長、空き家部の水野隆司氏(プランニングサプライ社長)、空き家部会長の伊瀬知晃氏(三好不動産執行役員)の両氏に、サイトを開設した思いや今後の展開を聞いた。(聞き手=坂元浩)

開設した目的は。

**水野** 「空き家について、どこに相談したらいいのかわからない」といった声が増えている。地方の実家など、空き家所有者の多くは他県の遠隔地に住み、目が届かずに管理で頭を悩ませている。これらの声を受

けて全管協として、どのような形で問題の解決に貢献できるのか、調査と研究を重ね、全国ベースの情報共有の必要性を感じた」

**社会的使命として**

**水野** 「問題解決への積極的なアプローチが住まいに関わる業界団体として、全管協の社会的使命にある。地域に根付く会員で構成する全管協の密なネットワークを生かしたいと考えた。一企業では難しくても、組織ならば対応する力は高まる。この取り組みは各社の連携につながり、会員同士の間接的強化にも期待できると考えた」

**伊瀬知** 「仮に空き家の相談をする際、一般的な検

索サイトでは不動産会社を探しても、空き家の管理まで対応しているのは細かく調べないと分からない。空き家ナビでは、空き家の物件形態や所在地などを入力すると、空き家管理に対応する近くの不動産管理会社を表示する。その複数社の中から相談先を選び、すぐに具体的な話を進めてもらえる」

——管理会社の登録状況は。

**伊瀬知** 「170社が登録済みで、当面は300社を目標とする。空き家管理のノウハウが十分でない、二の足を踏んでいる管理会社に

## 空き家管理会社を簡単検索

対しては、サイト上で契約書や報告書の書式をダウンロードできるようにしている。もしも、人手不足ならば、提携するパナネット(埼玉県越谷市)と組成した空き家管理サービスを活用して対応することもできる。全国的に対応力を強化するため、登録会社を増やして「一層尽力して」

「空き家総合サイト」

今後の展開は。

**伊瀬知** 「空き家を貸します、売りますなどの情報は、現状ではローカルレベルであり、全国ベースで共有できていない。空き家ナビも、今は「管理」を主体とした情報提供サービスとなっている。構想段階だが、物件自体の登録も可能にしてサービスメニューを広げる。売りたい、買いたいといった課題を解消して強みを叶える、双方をつなぐ、総合的な空き家ポータルサイト」に発展させていきたい」

**水野** 「空き家の放置は所有者だけでなく、防犯面、景観や魅力の面でも、まちの悩みとなっていく。空き家の管理は、大きな収益につながるわけではない。だが、ビジネスとして成り立たなければ、対策を継続することが難しいのも事実。だが、高い信頼を得ている全管協の大きな役割を会員それぞれが自覚する必要がある。オール全管協として、問題の解決に一層尽力して」

### 最大級の管理会社掲載数

※掲載数は100社以上の管理会社を掲載している会社です



管理・賃貸探し・修繕・リフォーム  
空き家まつわること相相談、承ります!!



『全国空き家管理ナビ』のトップページ